

電力・ガス小売全面自由化の進捗状況について

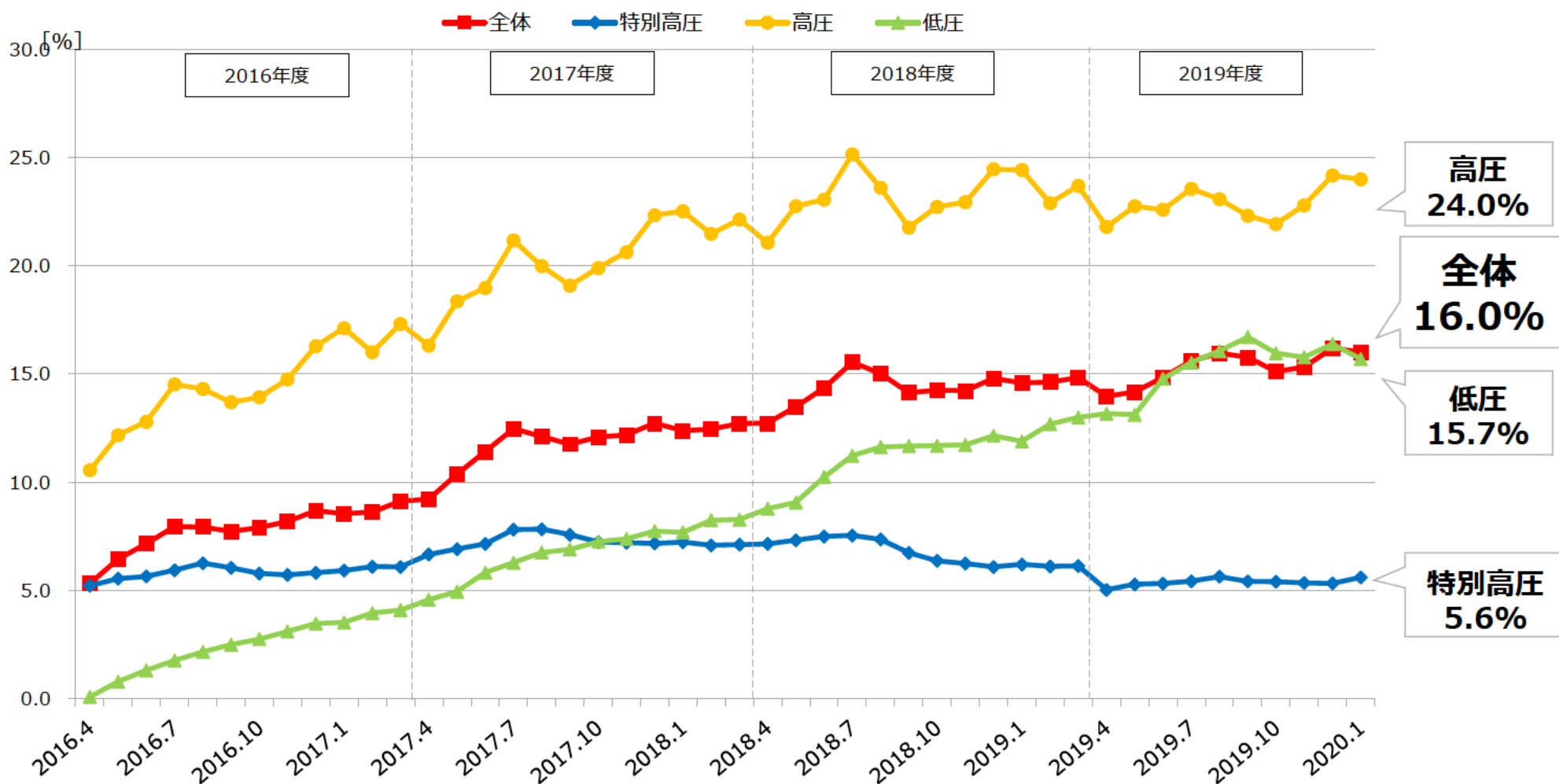
2020年 6月11日

資源エネルギー庁

1. 電力小売全面自由化の進捗状況について

新電力のシェアの推移

- 全販売電力量に占める新電力のシェアは、2020年1月時点では約16.0%。
うち家庭等を含む低圧分野のシェアは、約15.7%。

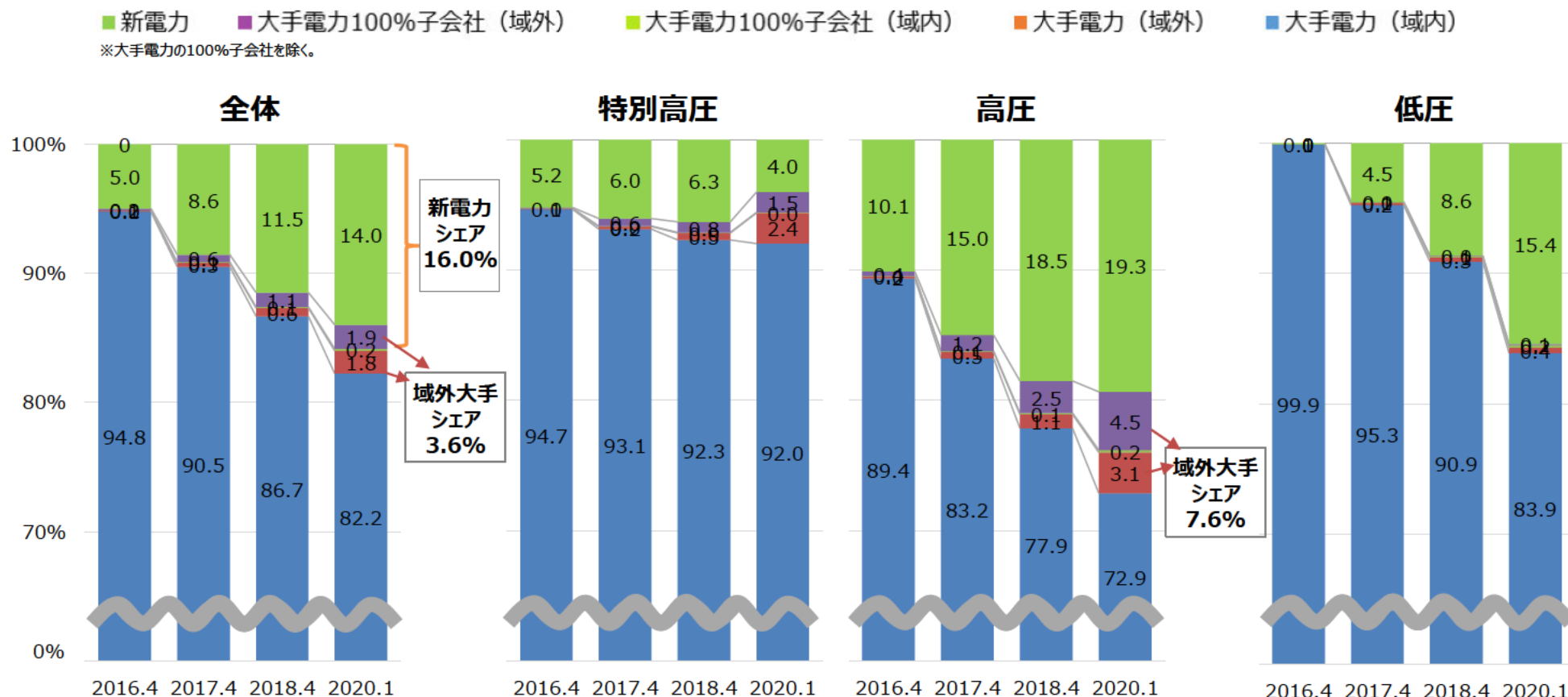


※上記「新電力」には、供給区域外の大手電力（旧一般電気事業者）を含まず、大手電力の子会社を含む。

※シェアは販売電力量ベースで算出したもの。

大手電力の域外進出

- **大手電力（旧一般電気事業者）及びその100%子会社の域外進出も進展。**直近、2020年1月時点でそれぞれ約1.8%、約1.9%で、合わせると**約3.6%**。
- 特に**高圧分野**においては、約3.0%、約4.5%で、合わせると**約7.6%**となっている。



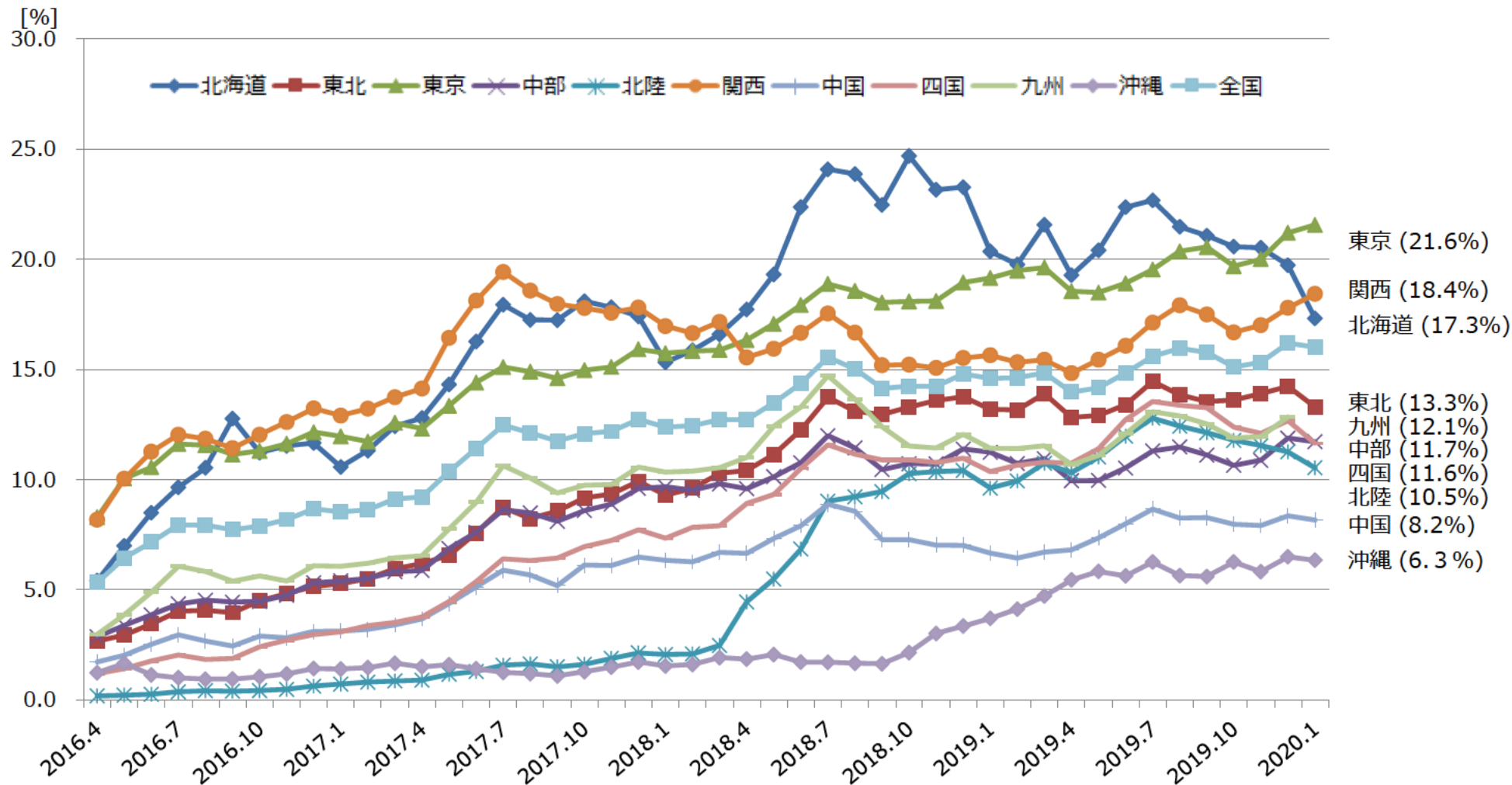
※シェアは販売電力量ベースで算出したもの。

※「域内」「域外」は、（子会社にあつては親会社たる）大手電力の供給区域内外における販売電力量の実績を示す。

（出所）電力取引報

供給区域別の新電力シェア（全電圧合計）

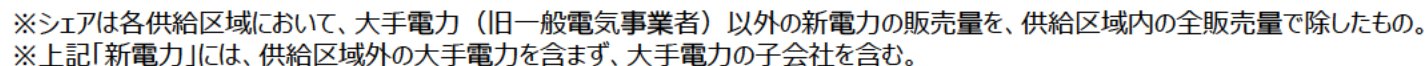
- 全面自由化以降、供給区域別の新電力のシェアは以下のとおり。



※シェアは各供給区域において、大手電力（旧一般電気事業者）以外の新電力の販売量を、供給区域内の全販売量で除したもの。
 ※上記「新電力」には、供給区域外の手電力を含まず、大手電力の子会社を含む。

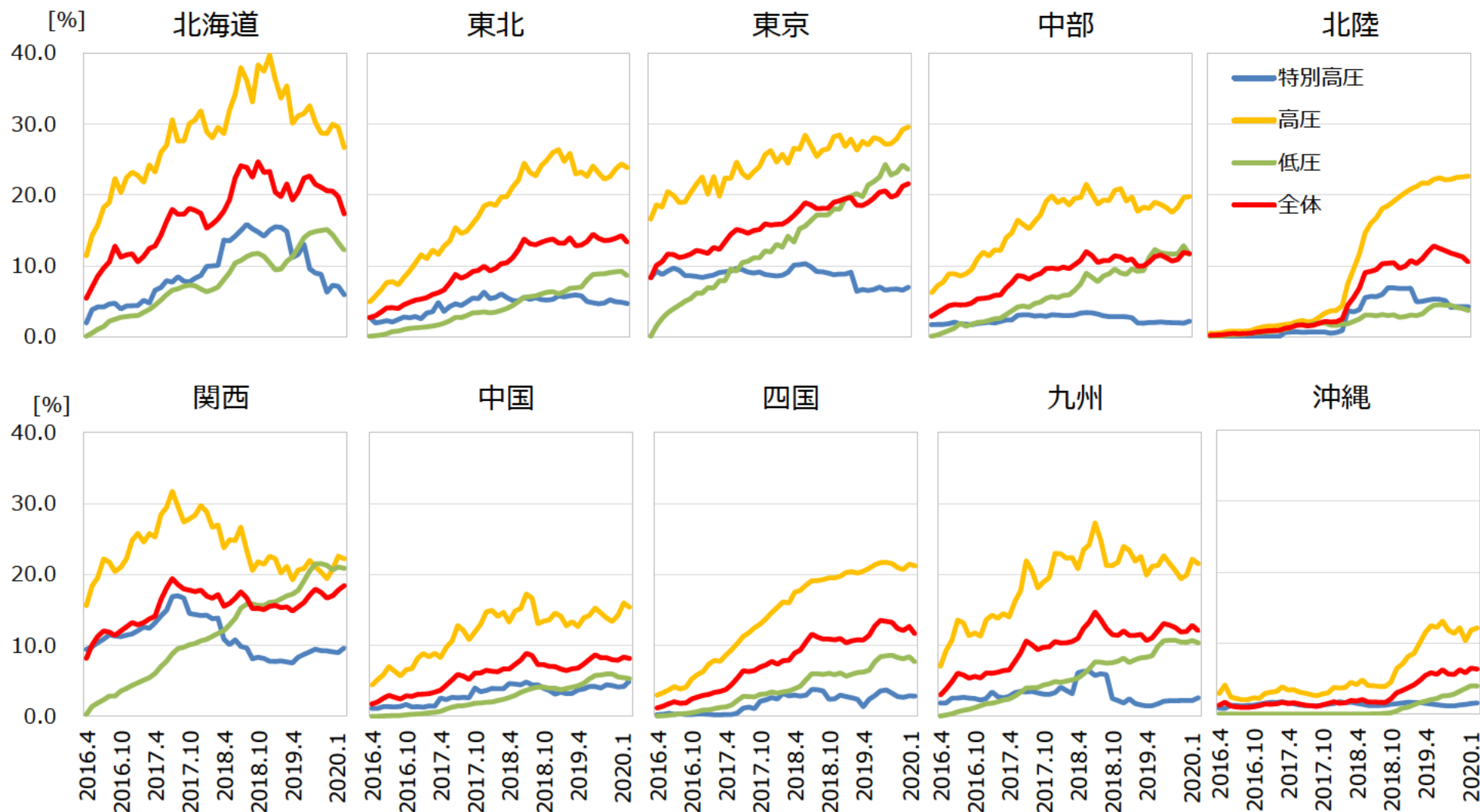
（出所）電力取引報

- 電圧別の新電力のシェアは以下のとおり。



6

(参考) 供給区域別・電圧別の新電力シェアの推移



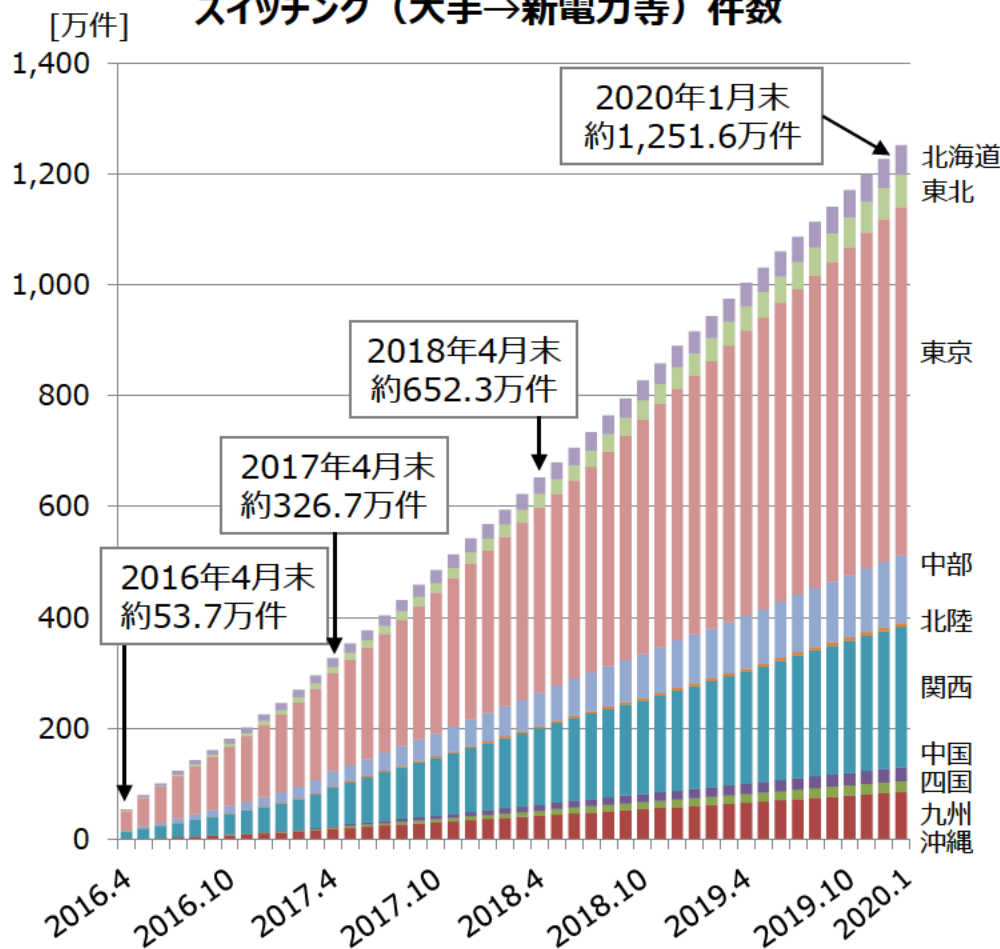
※シェアは各供給区域において、大手電力（旧一般電気事業者）以外の新電力の販売量を、供給区域内の全販売量で除したもの。
 ※上記「新電力」には、供給区域外の手電力を含まず、大手電力の子会社を含む。

(出所) 電力取引報

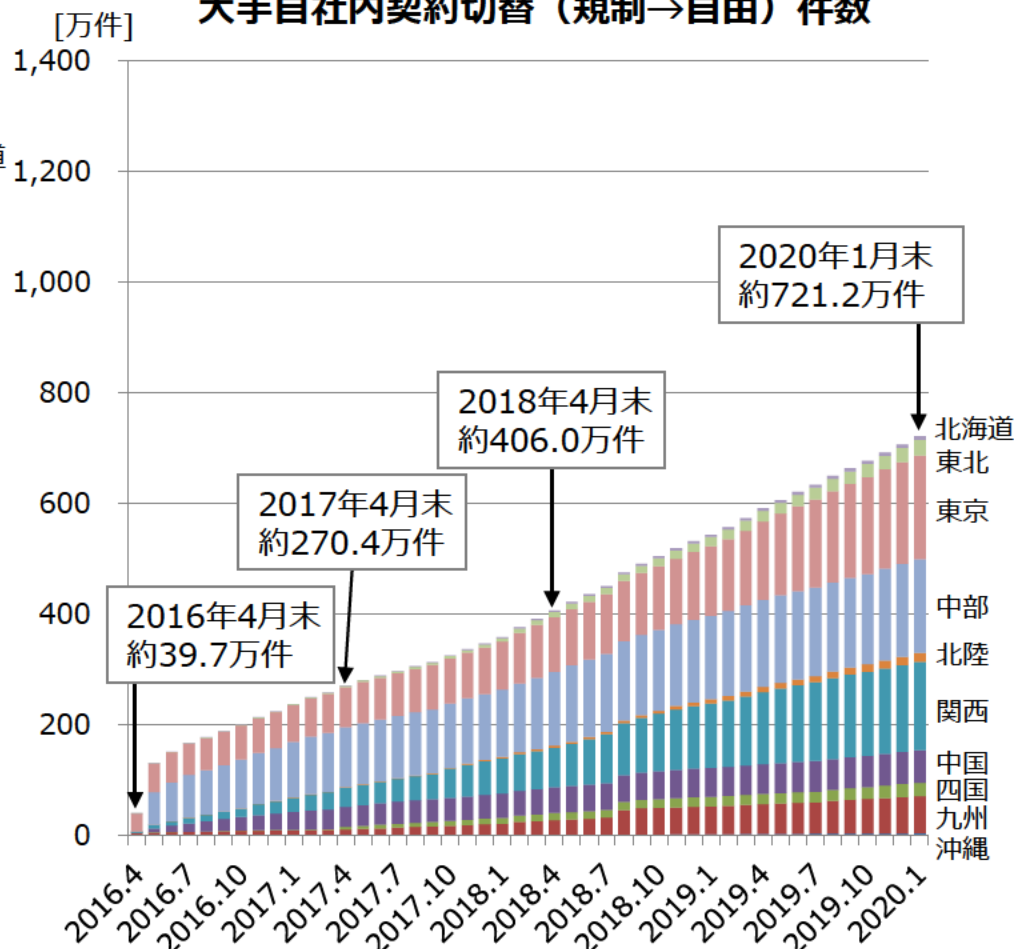
低圧分野のスイッチングの状況①

- 2020年1月末時点での新電力等への切替（スイッチング）件数は約1,252万件。
- 大手電力の自社内の契約切替件数（規制→自由）は約721万件。
（両者合わせると、約1,932万件）

スイッチング（大手→新電力等）件数



大手自社内契約切替（規制→自由）件数



※「新電力等」とは、新電力（大手電力（旧一般電気事業者）の子会社を含む。）及び供給区域外の大手電力を指す。

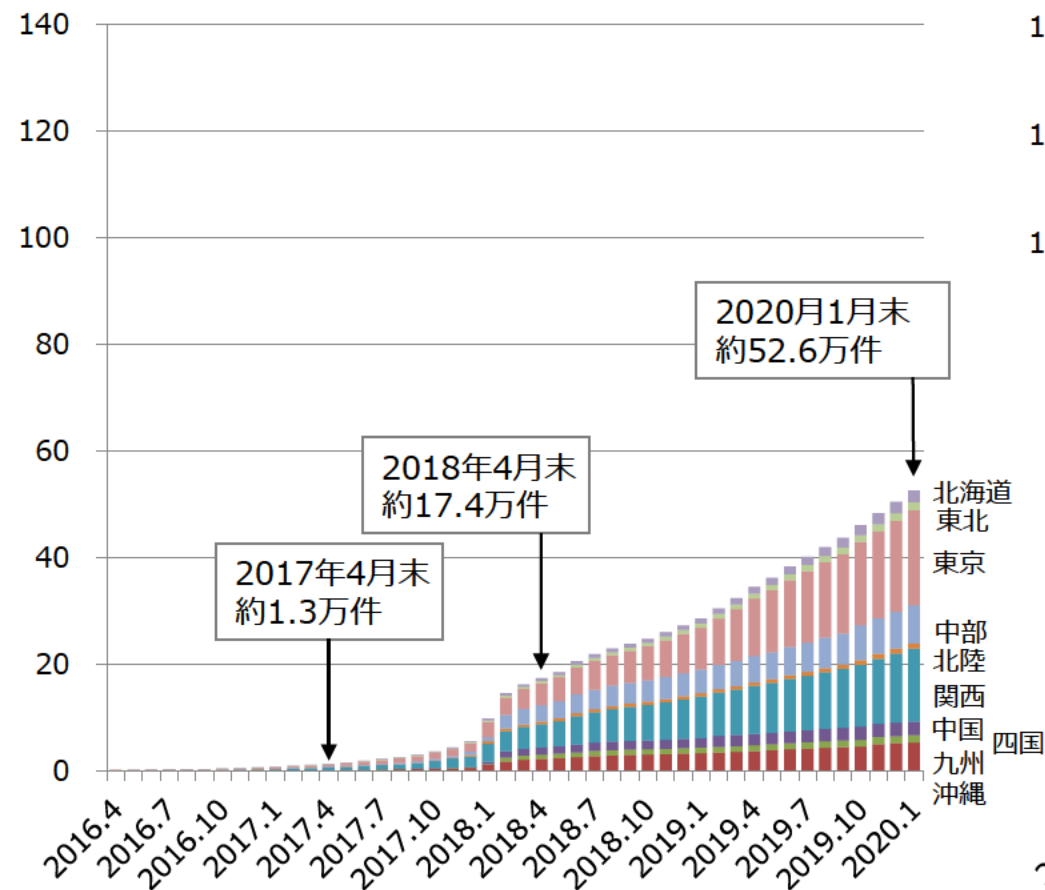
（出所）電力取引報

低圧分野のスイッチングの状況②

- 2020年1月末時点での新電力等から供給区域内の大手電力（旧一般電気事業者）への切替（スイッチング）件数は約53万件。
- 新電力等から新電力等への切替件数は約127万件となっている。

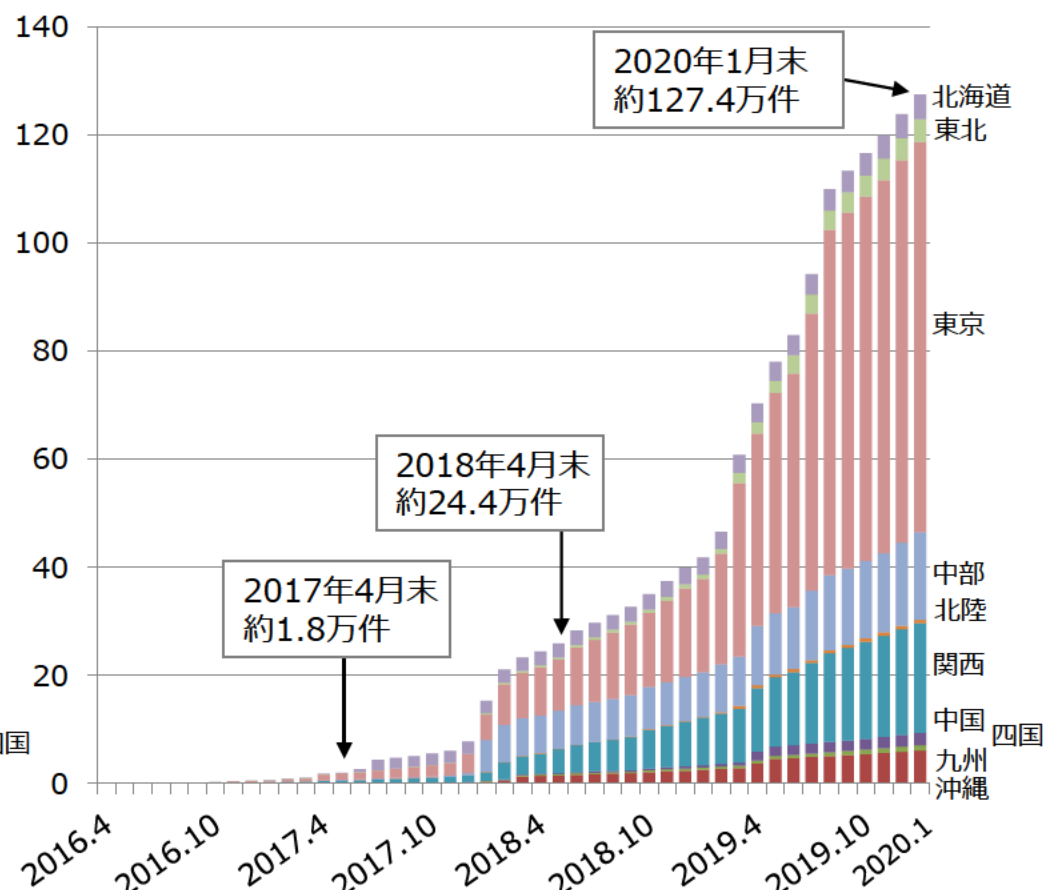
スイッチング（新電力等→大手）件数

[万件]



スイッチング（新電力等→新電力等）件数

[万件]



※「新電力等」とは、新電力（大手電力（旧一般電気事業者）の子会社を含む。）及び供給区域外の大手電力を指す。

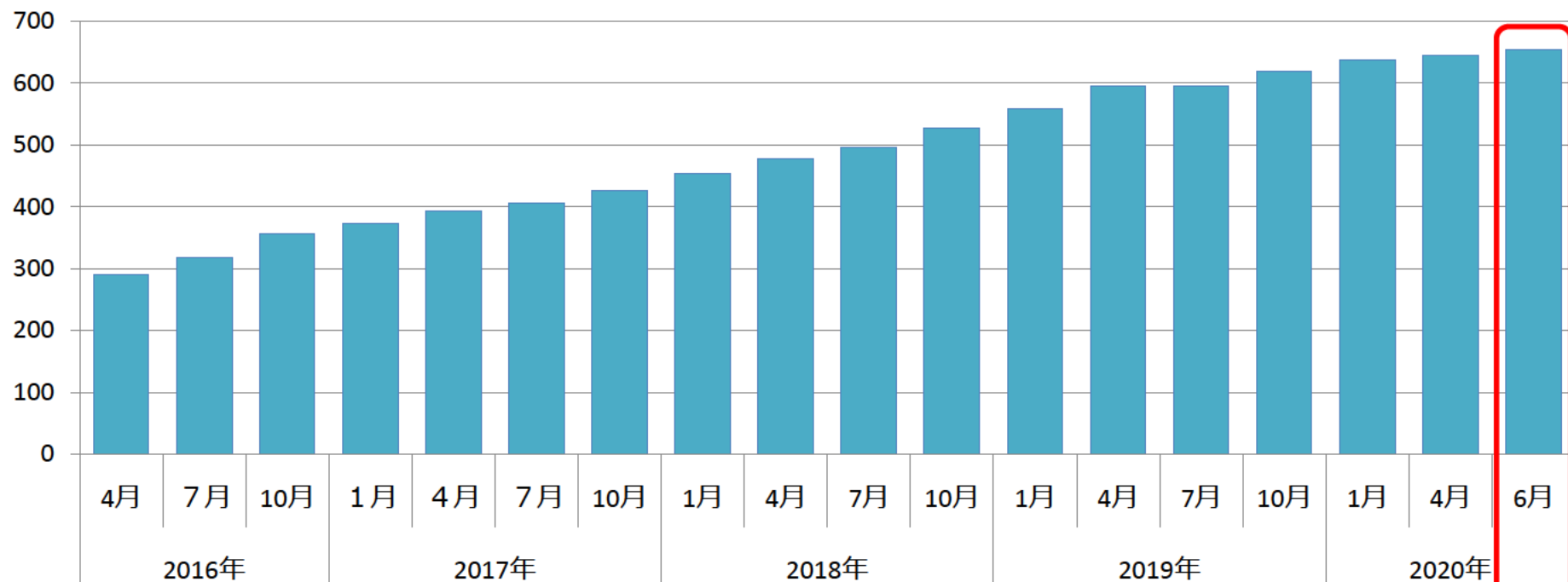
（出所） 電力取引報

小売電気事業者の登録数

- 小売事業者の登録数は増加を続けてきており、**2020年6月1日時点で654者**。
- 一方で、事業承継は69件、事業廃止や法人の解散は22件となっている。

[件]

小売電気事業者の登録数の推移



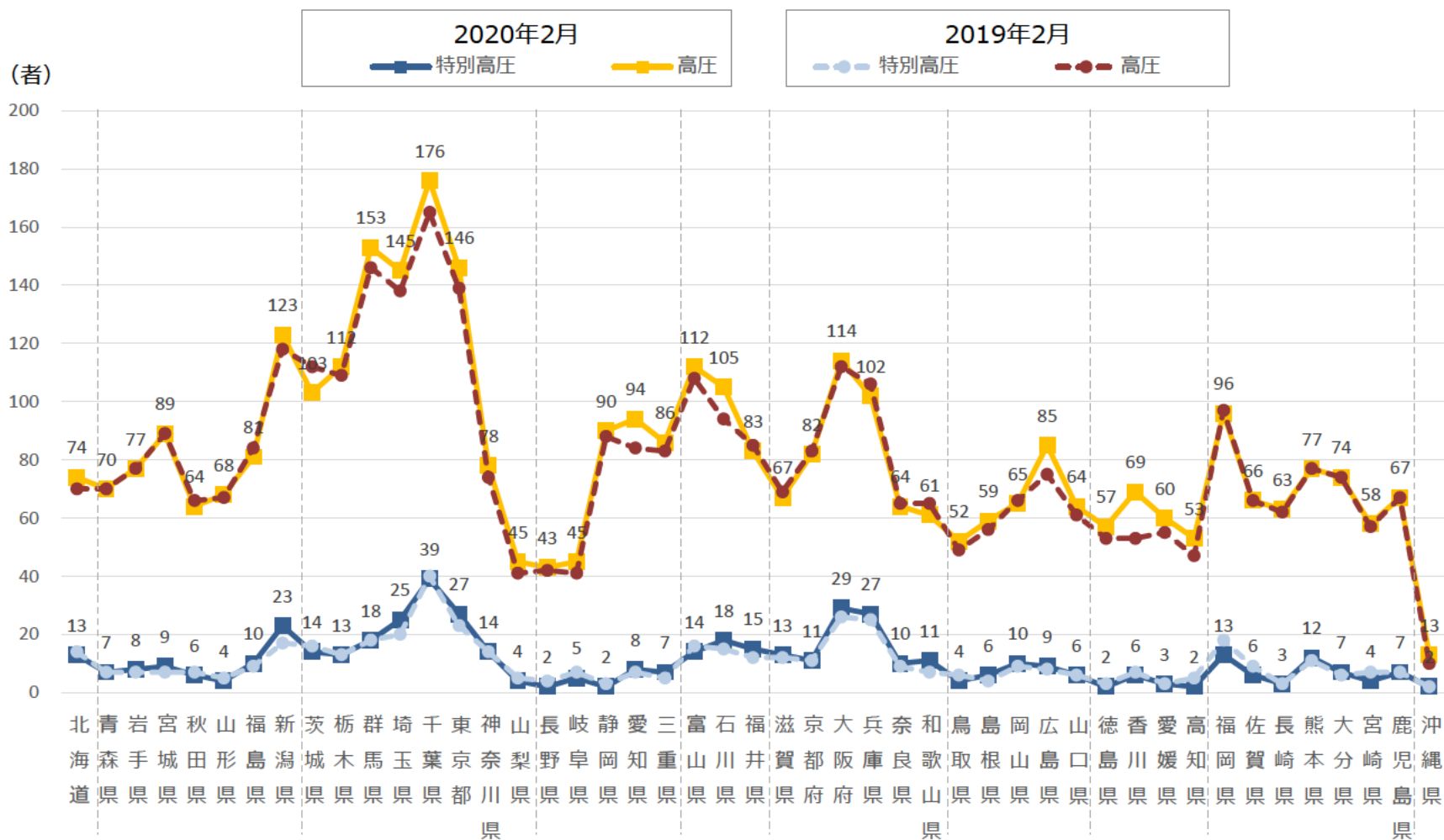
登 録 件 数	291	318	356	374	394	407	427	453	478	496	528	559	595	596	619	637	644	654
事業承継件数	0	3	3	3	6	6	8	10	18	22	24	28	32	55	59	61	67	69
事業廃止・解散件数	2	4	4	4	7	8	8	9	9	10	11	12	12	15	16	16	20	22

※上記件数は、6月1日までに登録や届出等があった件数。

小売電気事業者の都道府県別参入者数（特別高圧・高圧）

- 都道府県別に小売電気事業者の参入者数を2019年と2020年を比較すると、特別高圧分野及び高圧分野ではおおよそ変わらない。

※グラフ上の数値は、小売実績がある事業者数。

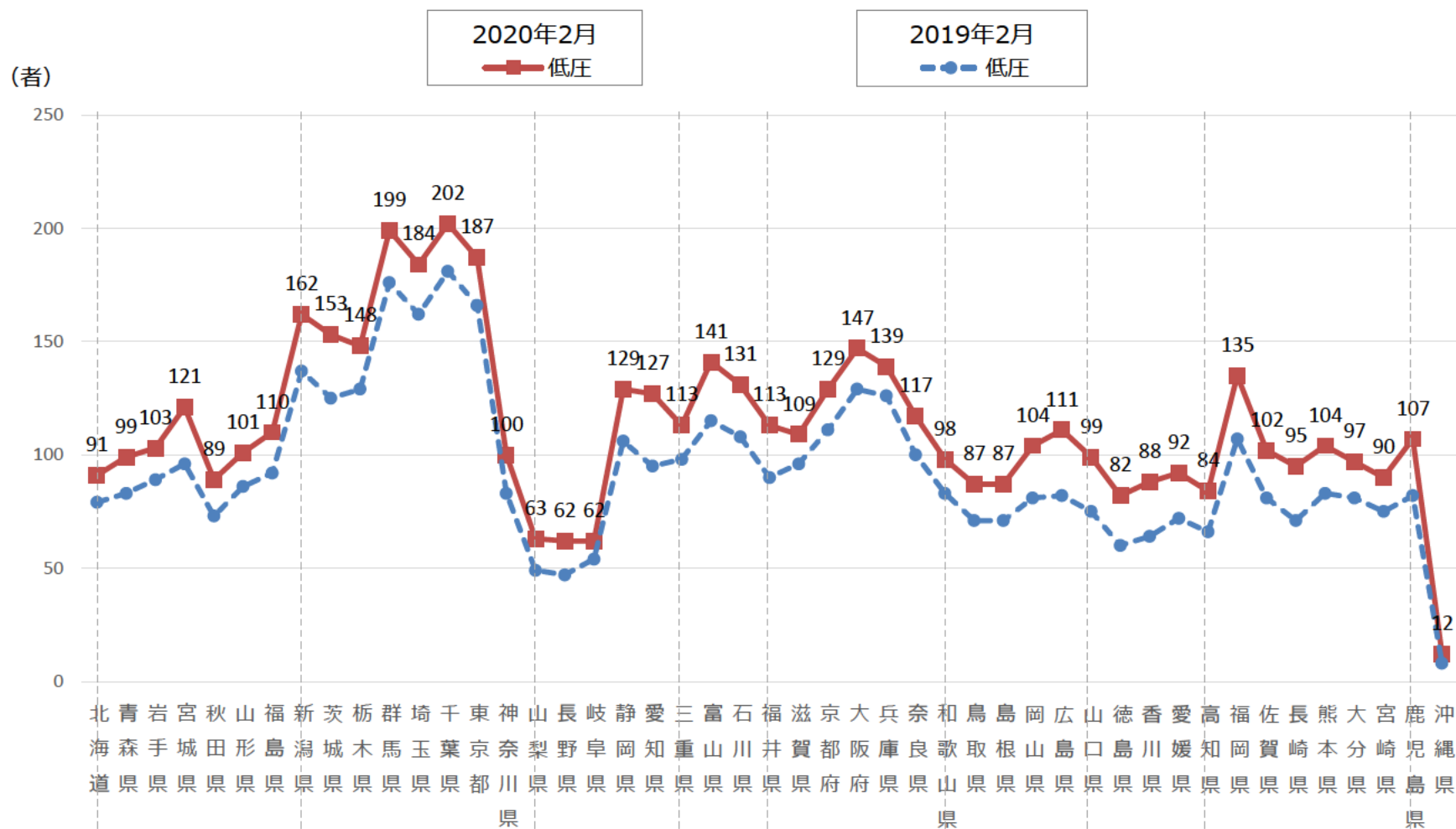


(出所) 電力調査統計

小売電気事業者の都道府県別参入者数（低圧）

- 都道府県別の小売電気事業者の参入者数について2019年と2020年を比較すると、低圧分野ではいずれの都道府県でも参入者数は増加している。

※グラフ上の数値は、小売実績がある事業者数。



(出所) 電力調査統計

多様化する料金メニューの例

- 小売電気事業者が提供する料金メニューは多様化し、需要家の選択肢が広がっている。

再エネ特化型

- ・再生可能エネルギーを100%提供する料金メニュー。FIT電気での提供や、非化石証書を活用したものもある。トドック電力やネクストエナジー・アンド・リソースなどが提供。
- ・さらに電源を特化して(例えば水力100%)提供するものもある。東電EPなどが提供。

EV向け割引

- ・EV用充電設備を設置しており、かつEVを所有している者に対して通常のプランから割引くもの。Loopなどが提供。

市場連動型

- ・実際に市場からの調達価格(コマごと)をもとに電気料金を計算するメニュー。自然電力が提供。

発電所(者)特定型

- ・ブロックチェーンにより発電所と需要家をマッチングさせて提供するもの。みんな電力が提供。
- ・需要家自らが小売事業者の取次店となり、発電者と取引するものもある。デジタルグリッドが提供。

完全従量料金

- ・基本料金を0円とし、完全従量制の電気料金メニュー。LoopやSBパワー、TRENDEなどが提供。

節電割引

- ・小売事業者が予め指定する日の最も需要が多い時間帯の節電実施状況に応じて電気料金を割引。北陸電力が提供。

歩数連動割引

- ・歩いた歩数に応じて電気料金を割り引くサービス。イーレックスが提供。

時間帯別料金

- ・家庭で電気をよく使用する夜間の時間帯(例えば、夜8時から翌朝7時まで)で割安な料金を設定。出光興産やシン・エナジー、みやまスマートエネルギーなどが提供。

特定時間帯無料

- ・特定の時間帯(例えば朝6時～8時)の電気料金(従量分)を無料にする。HTBエナジーが提供。

一段階料金

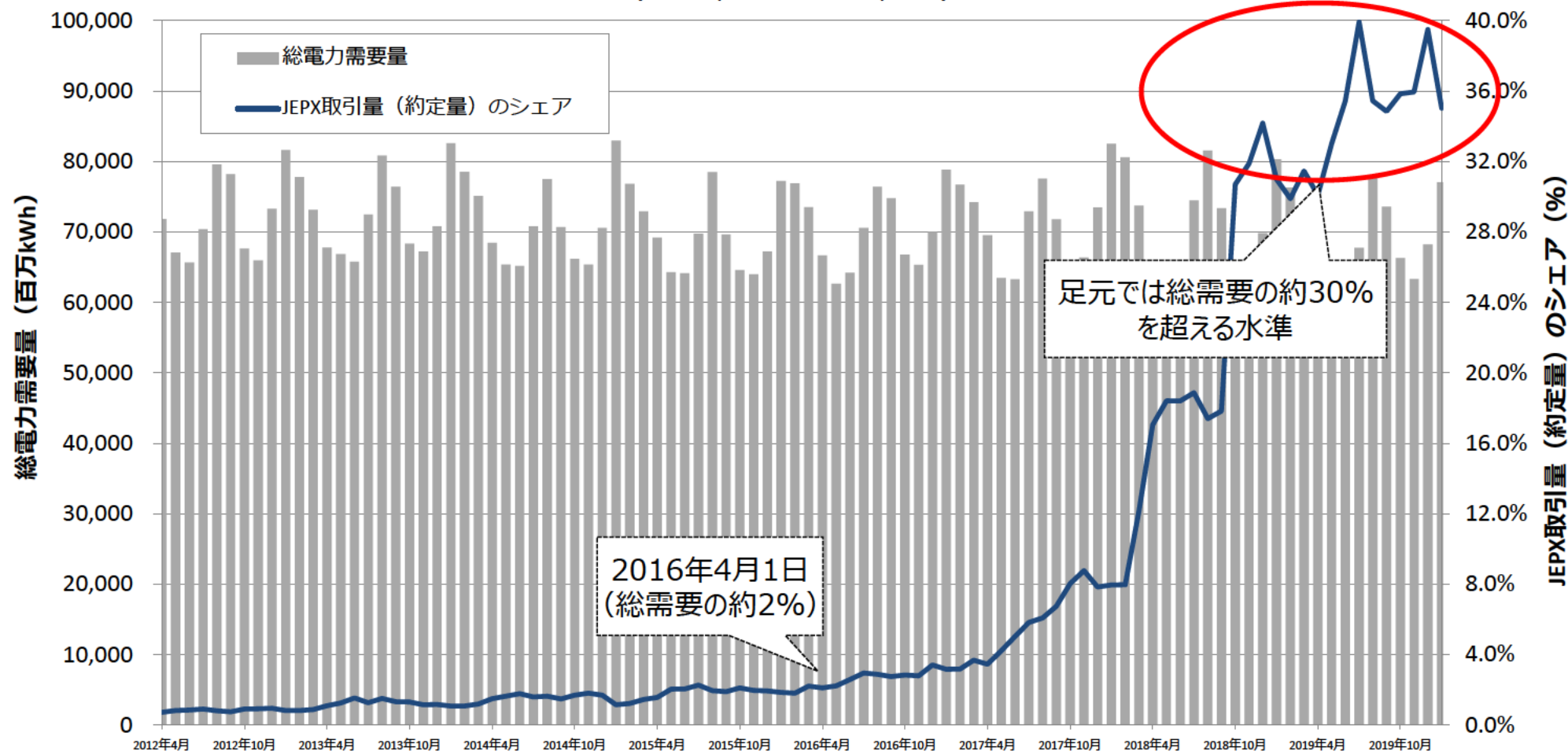
- ・消費者にとっての分かりやすさを重視し、一段階料金のメニューを提供。オプテージやF-Powerなどが提供。

全面自由化後の卸取引市場の状況（取引量）

- 卸電力取引所の取引量は、小売全面自由化当初（2016年4月1日）には、総需要の約2%であったのに対し、足元では約30%を超える水準で推移。

JEPX取引量（約定量）のシェアの推移

（2012年4月～2020年1月）

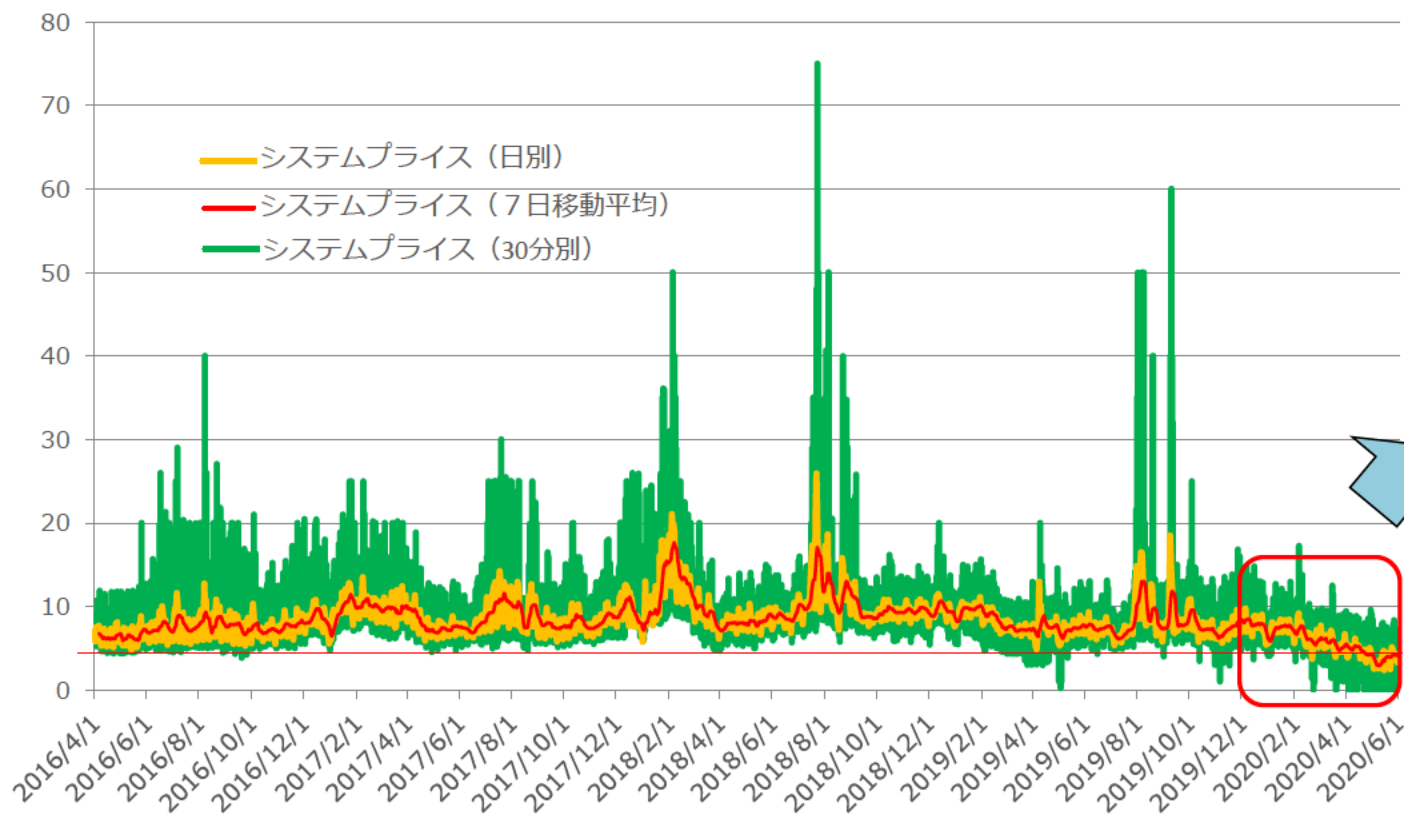


全面自由化後の卸取引市場の状況（取引価格）

- 卸電力取引所における取引価格は12月以降、減少傾向。
- 2020年5月の総取引量は211.7億kWh、システムプライスの平均値は約4.18円/kWh。
この間、システムプライスが最低価格（0.01円/kWh）となったコマ数（30分別）は、114コマ。
- こうした市場動向は、短期的な需給の状況が市場に反映されたものと考えられる一方、長期的な電源投資に及ぼす影響について、注視が必要と考えられる。

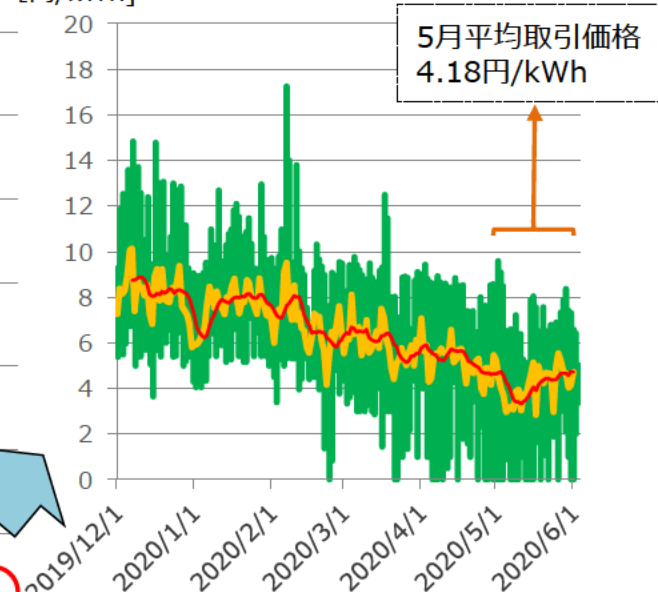
取引価格（スポット市場）

[円/kWh]



<2019年12月1日～2020年6月1日分>

[円/kWh]

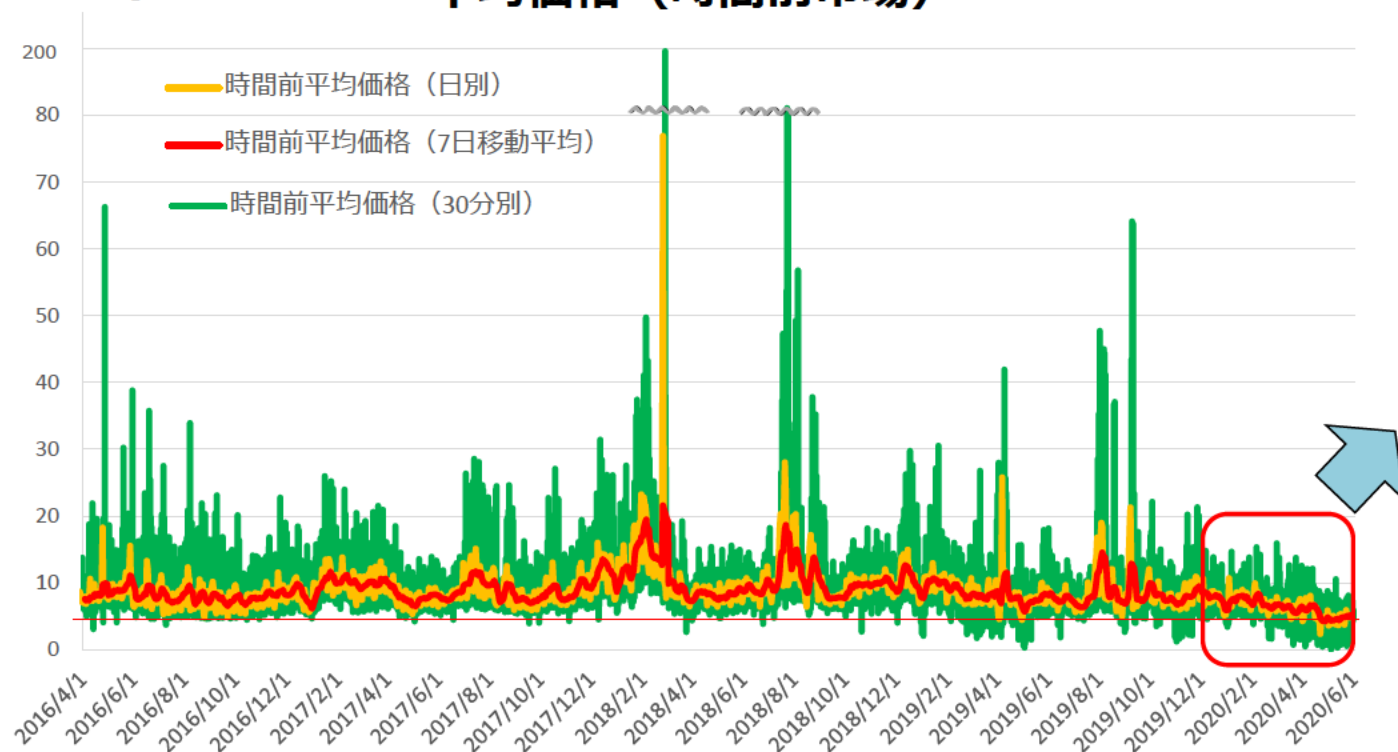


全面自由化後の卸取引市場の状況（取引価格）

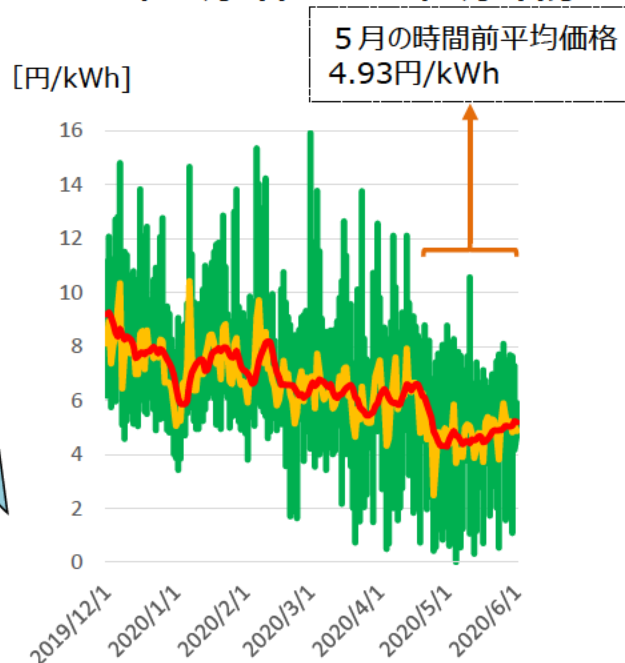
- 時間前市場の価格は、スポット市場のシステムプライス同様12月以降、減少傾向。
- 5月の取引量は約3.4億kWhであり、時間前平均価格（30分別）の平均値は約4.93円/kWh。この間、時間前平均価格（30分別）が最低価格（0.01円/kWh）となったコマ数（30分別）は、1コマ。前月と比較して日平均約定量は23.4%増となった。
- 今後、再エネの市場統合の進展に伴い、時間前市場の重要性がより高まっていくと考えられる。

[円/kWh]

平均価格（時間前市場）



<2019年12月1日～2020年6月1日分>



2. ガス小売全面自由化の進捗状況について

自由化後の小売事業者の登録状況①

- 小売全面自由化後、これまでに79社がガス事業法に基づく「ガス小売事業」の登録を行っている。このうち、今回の自由化を機に、越境販売を含め、新たに一般家庭へ供給（予定を含む）しているのは、34社。（2020年5月25日時点）

電気事業者（6社）

- ・東北電力
- ・東京電力エナジーパートナー ※ 1
- ・中部電力ミライズ ※ 1
- ・関西電力 ※ 1
- ・四国電力
- ・九州電力 ※ 1

旧一般ガス事業者（6社）

- ・東京ガス ※ 1
- ・日本瓦斯 ※ 1
- ・東彩ガス ※ 1
- ・東日本ガス ※ 1
- ・新日本ガス ※ 1
- ・北日本ガス ※ 1

LPガス事業者（16社）

- ・河原実業 ※ 1
- ・レモンガス ※ 1
- ・サイサン ※ 1
- ・イワタニ長野
- ・赤間商会
- ・ガスバル ※ 1
- ・グリーンガス金沢
- ・有限会社ファミリーガス
- ・有限会社神崎ガス工業
- ・エネックス ※ 1
- ・三ツ輪商会
- ・藤森プロパン商会
- ・日東エネルギー ※ 1
- ・九石プロパンガス
- ・宮崎商事
- ・いちたかガスワン ※ 1

旧大口ガス事業者※2（20社）

- ・朝日ガスエナジー
- ・岩谷産業
- ・三菱ケミカル
- ・テツゲン
- ・仙台プロパン
- ・ネクストエネルギー
- ・上越エネルギーサービス
- ・東京ガスエンジニアリングソリューションズ
- ・北陸天然瓦斯興業
- ・合同資源
- ・鈴与商事
- ・鈴興
- ・富山グリーンフードリサイクル
- ・甲賀エナジー
- ・近畿エア・ウォーター
- ・小倉興産エネルギー
- ・熊本みらいエル・エヌ・ジー
- ・日本製鉄
- ・プログレッシブエナジー
- ・りゅうせき ※ 1

旧ガス導管事業者※3（9社）

- ・JXTGエネルギー ※ 1
- ・石油資源開発
- ・国際石油開発帝石
- ・三愛石油
- ・南遠州パイプライン
- ・エア・ウォーター
- ・東北天然ガス
- ・エネロップ
- ・筑後ガス圧送

その他の事業者（22社）

- ・日本ファシリティー・ソリューション
- ・豊富町
- ・ファミリーネット・ジャパン ※ 1
- ・HTBエナジー ※ 1
- ・イーレックス ※ 1
- ・中央電力 ※ 1
- ・CDエナジーダイレクト ※ 1
- ・関電エネルギーソリューション
- ・PinT ※ 1
- ・エフビットコミュニケーションズ ※ 1
- ・アストマックス・トレーディング ※ 1
- ・イーエムアイ ※ 1
- ・CSIエナジーサービス
- ・びわ湖ブルーエナジー ※ 1
- ・島原GEエナジー ※ 1
- ・ひむかエルエヌジー
- ・アースインフィニティ ※ 1
- ・JERA
- ・テプコカスタマーサービス
- ・グローバルエンジニアリング ※ 1
- ・T&TEエナジー ※ 1
- ・東京エナジーアライアンス ※ 1

（注1）旧一般ガス事業者及び旧簡易ガス事業者のうち、みなしガス小売事業者は除く。

（注2）事業譲渡の場合は除く。

（注3）下線は第23回電力・ガス基本政策小委員会（3月27日）以後に登録した事業者

※1 越境販売を含め新たに一般家庭へ供給（予定を含む）

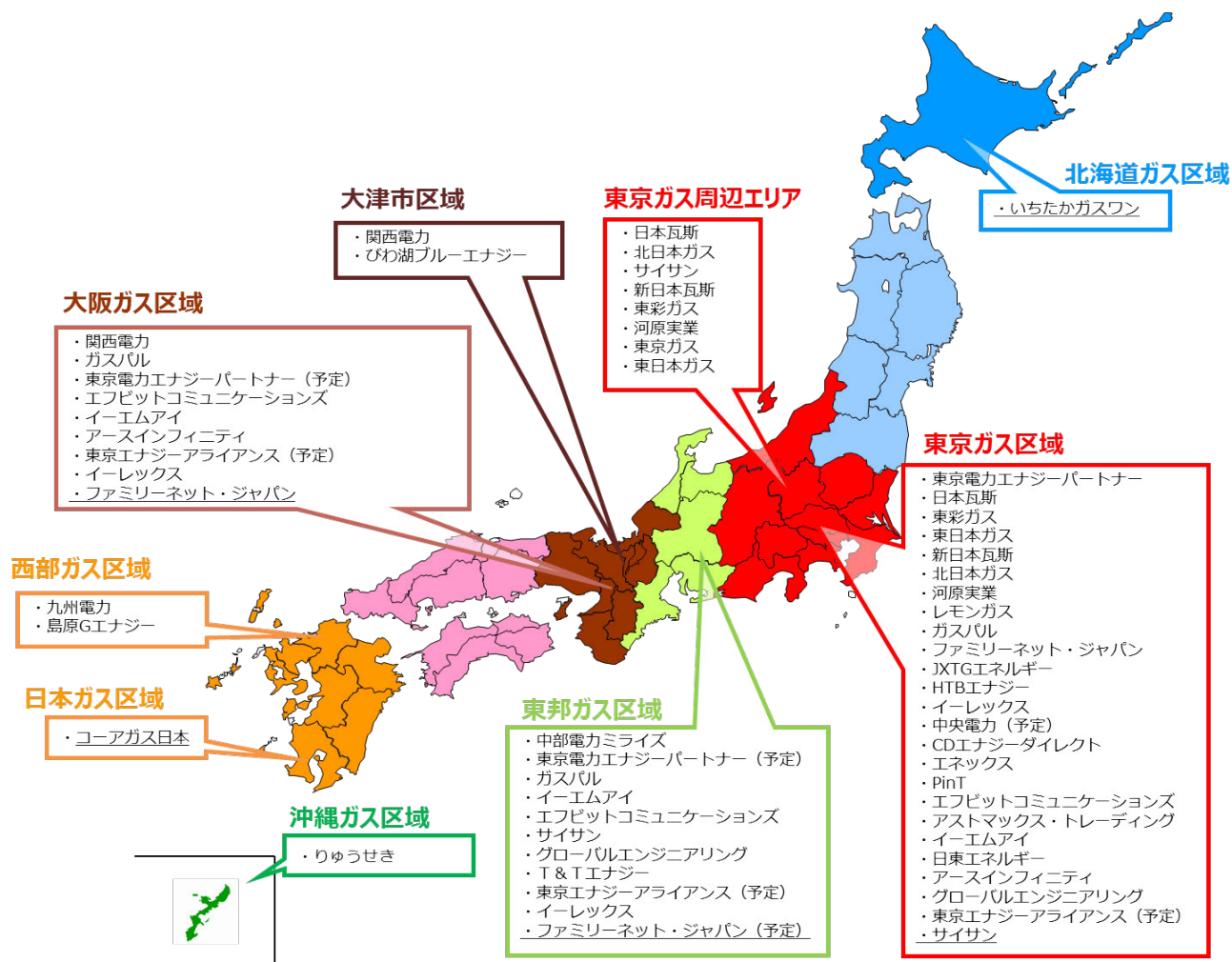
※2 旧大口ガス事業者 年間ガス供給量 10万m³以上の大口需要家へのガスの供給を行う者で、一般ガス事業者、簡易ガス事業者、ガス導管事業者に該当する者を除いた者

※3 旧ガス導管事業者 自らが維持し、及び運用する特定導管により、卸供給及び大口供給の事業を行う者のうち、一般ガス事業者や簡易ガス事業者に該当する者を除いた者

自由化後の小売事業者の登録状況②

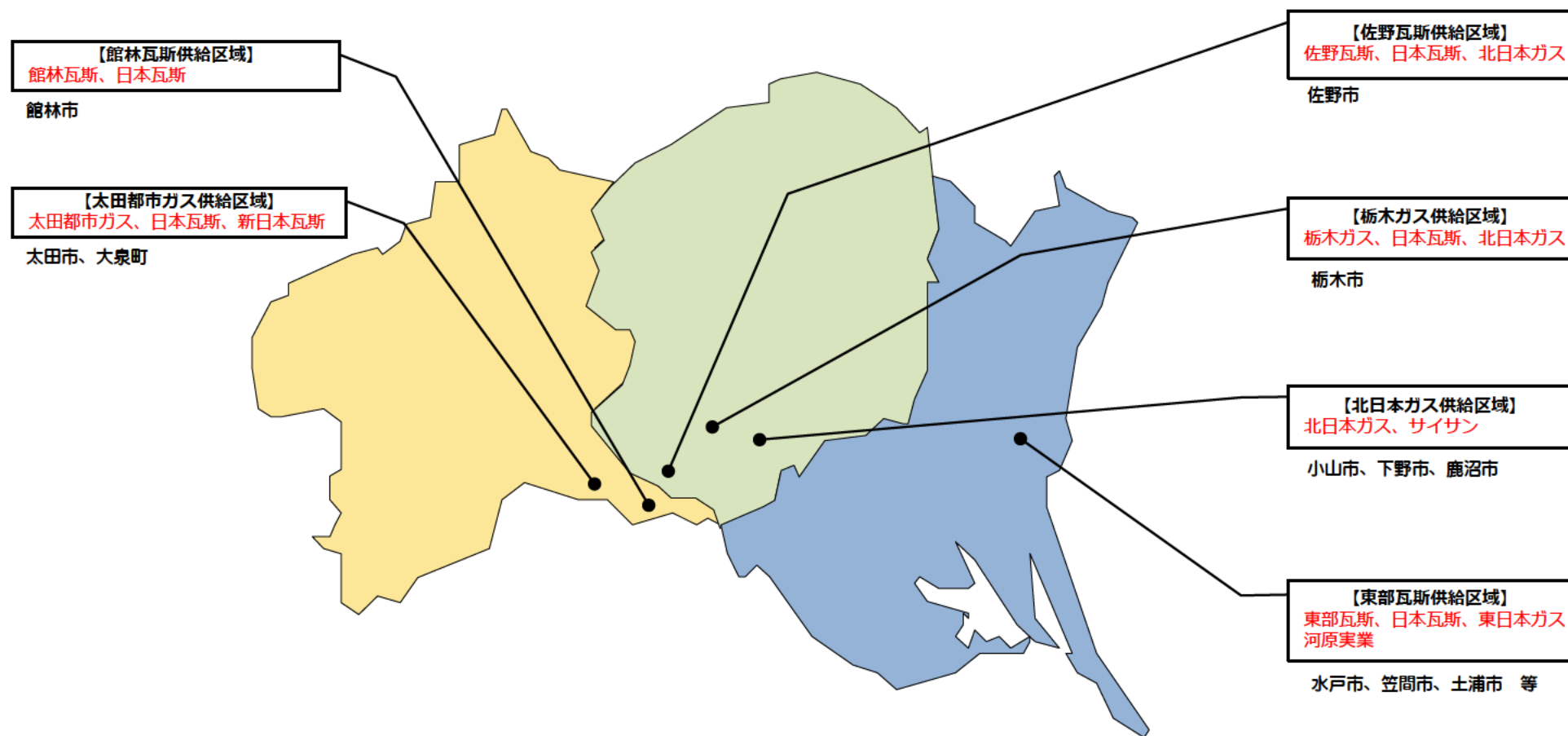
- 新たに一般家庭への供給（予定を含む）を行っている新規参入者は、東京ガス区域が最も多く、他エリアも参入が増えつつある。4月には北海道ガス区域、日本ガス区域において新たに1社ずつ参入した。（2020年5月25日時点）

（注）下線は第23回電力・ガス基本政策小委員会（3月27日）以後に、当該区域でのガス小売事業に参入（予定を含む）した事業者



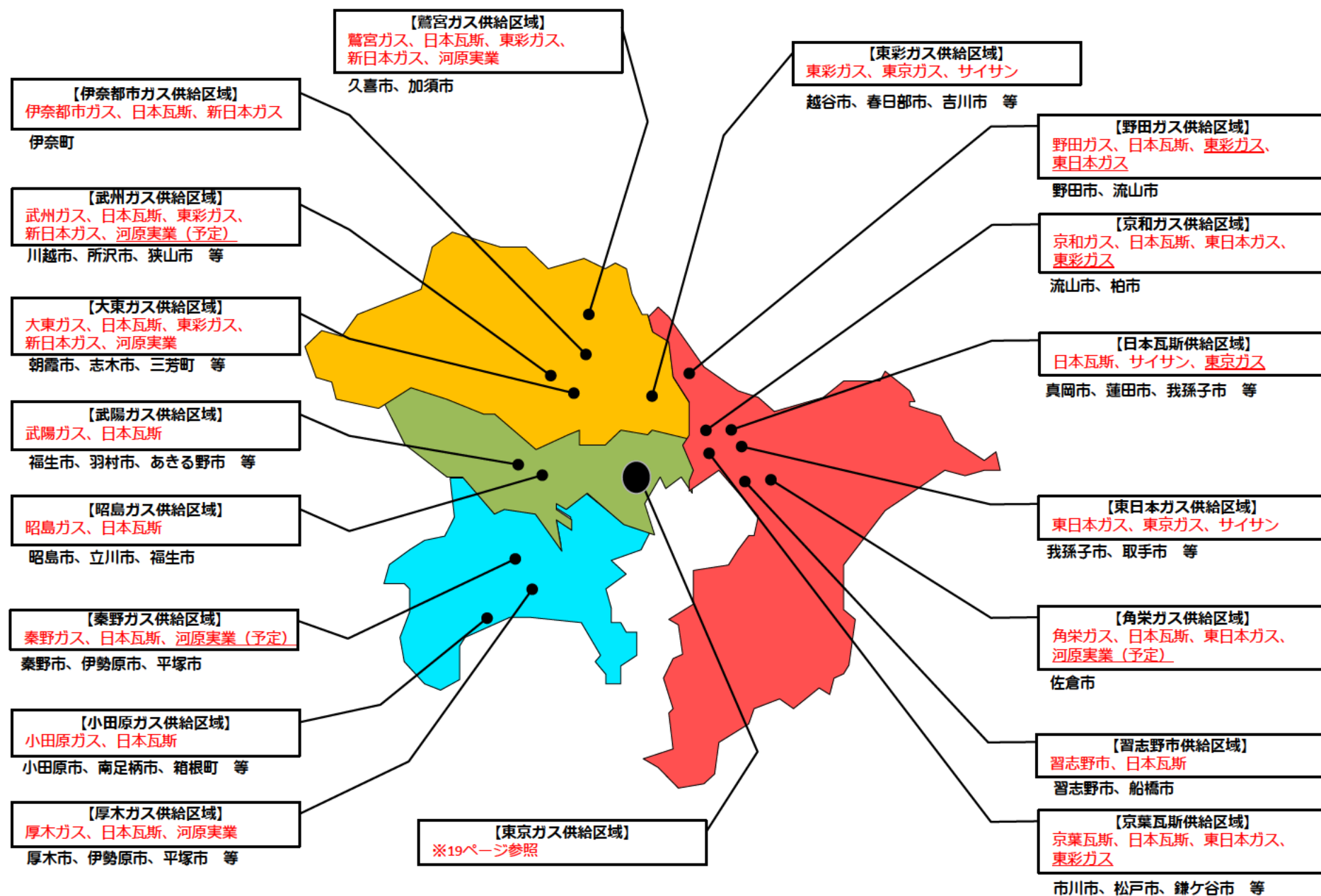
(参考) 関東エリアの参入状況①

- 関東エリアでは、一般ガス導管事業者53社中23社の供給区域で、一般家庭への供給を複数の小売事業者が行っている。



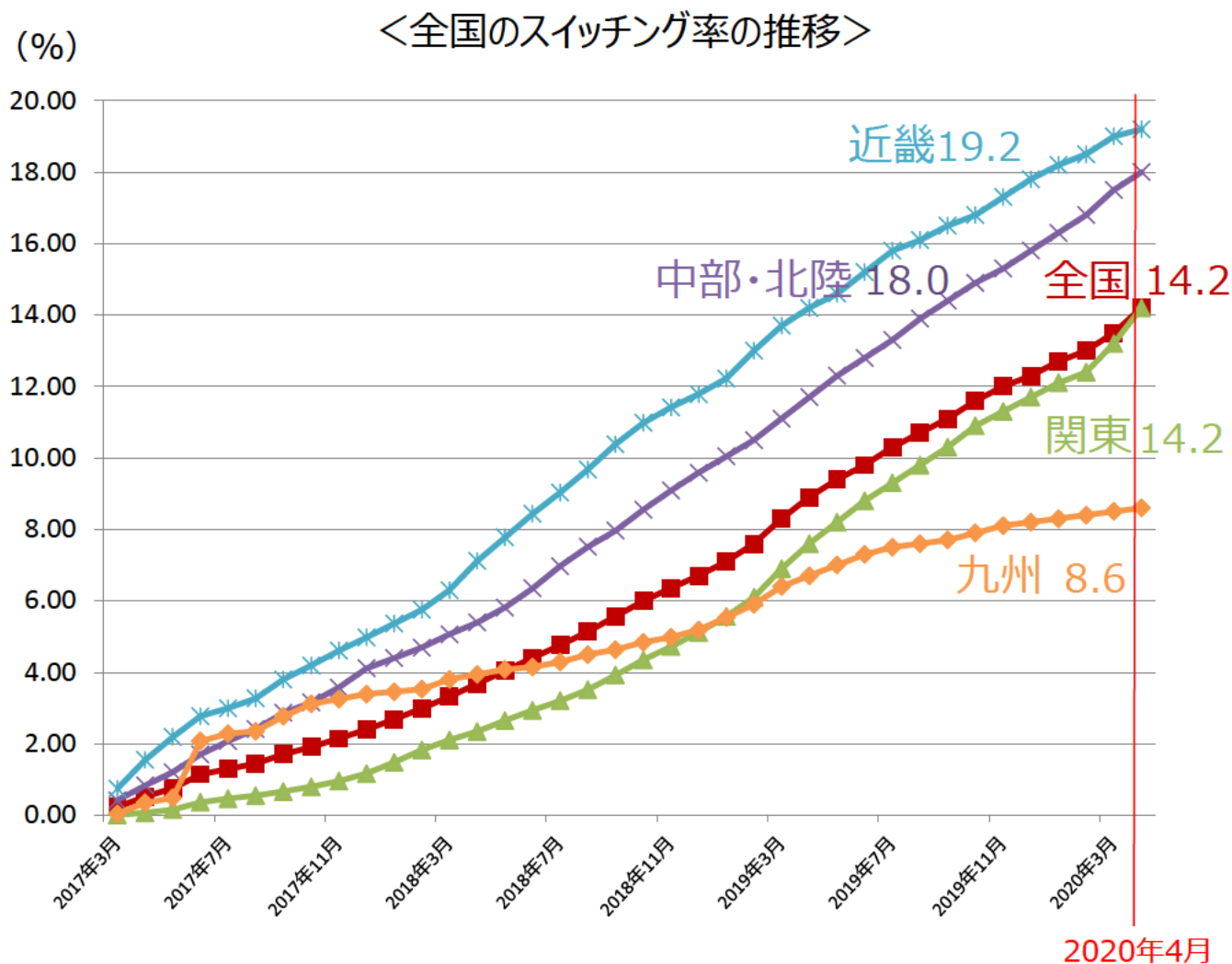
(参考) 関東エリアの参入状況②

(注) 下線は第23回電力・ガス基本政策小委員会(3月27日)以後に、当該区域でのガス小売事業に参入(予定を含む)した事業者



他社スイッチングの状況①

- 小売全面自由化後、家庭用の契約で、他社へ契約変更するケースが増えており、その割合は2020年4月末時点で、家庭用契約数全体のおよそ14.2%（※）となっている（総数は約360万件）。
- 地域別で見ると、関東が特に伸びている。



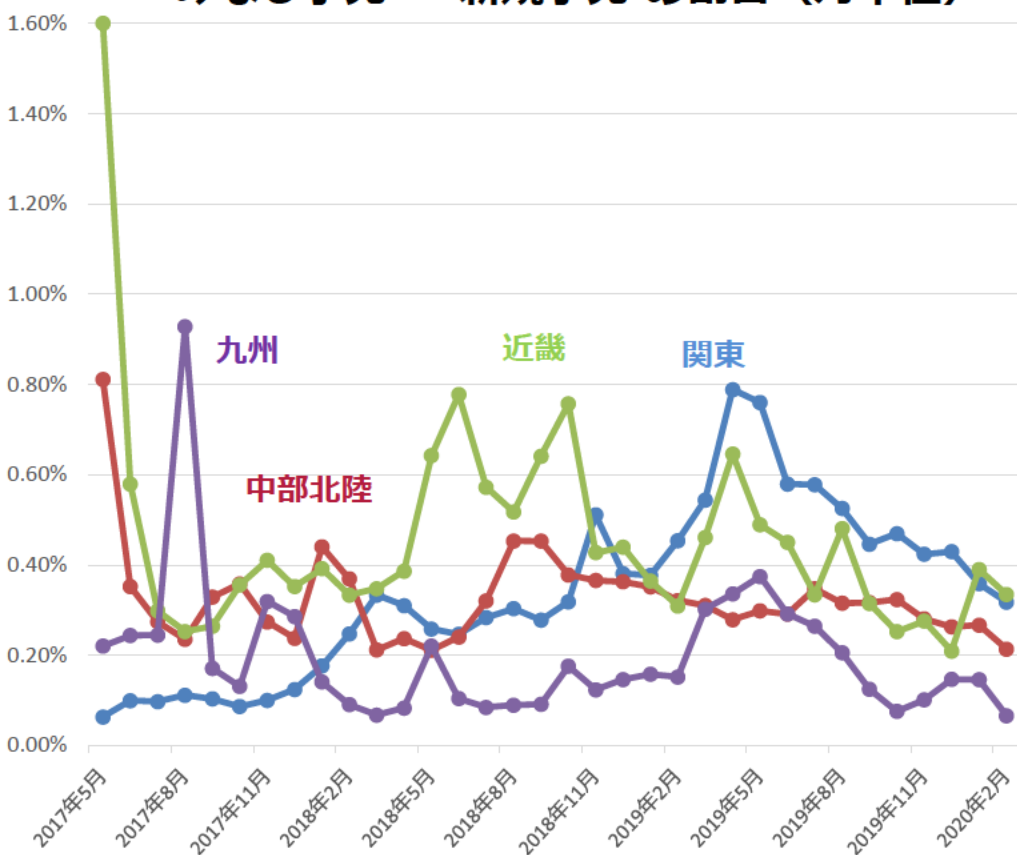
地域	申込件数 【単位：件】	件数前月差【件】 (スイッチング率の 前月差【%】)
北海道	—	—
東北	—	—
関東	1,844,014	+135,013 (+1.0)
中部・北陸	434,667	+12,912 (+0.5)
近畿	1,193,818	+16,153 (+0.2)
中国・四国	—	—
九州・沖縄	124,541	+1,693 (+0.1)
全国	3,597,040	+165,772 (+0.7)

(※) 2017年3月の一般家庭等の契約件数
(選択約款含む約2,538万件) を用いて試算。
選択約款の契約件数を母数から除いた場合、
全国でのスイッチング率は、18.3%。

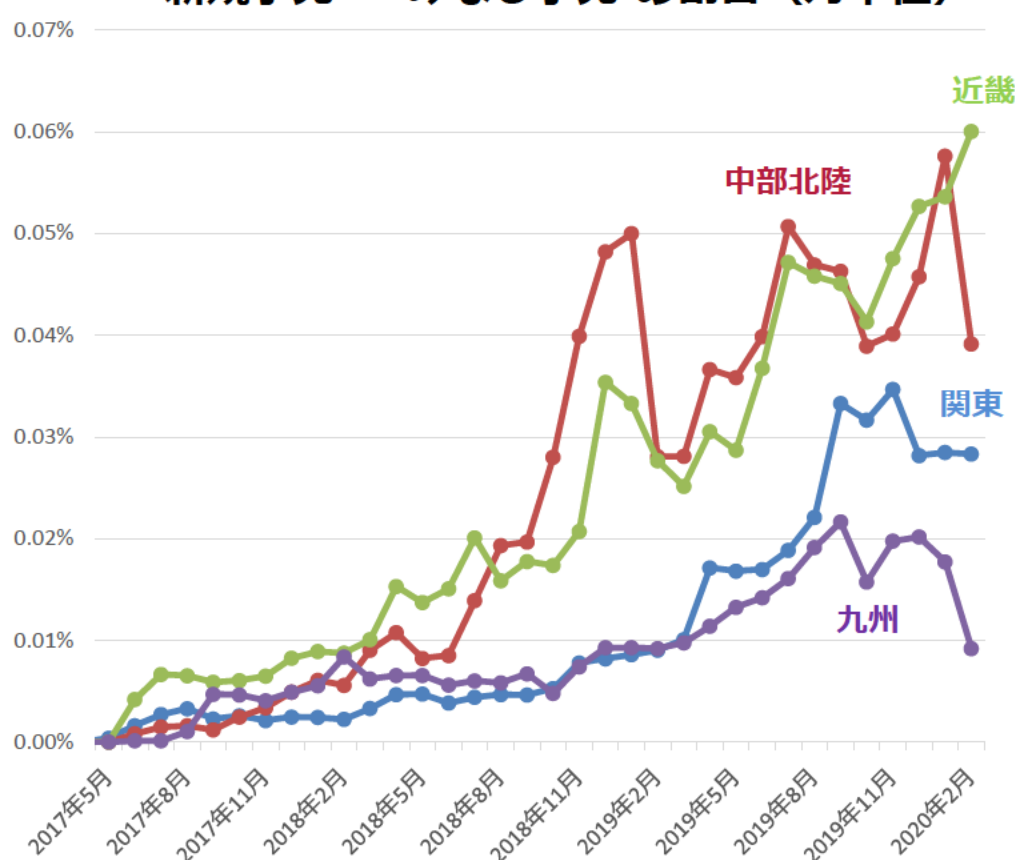
他社スイッチングの状況②

- みなし小売から新規小売へのスイッチングは、直近3ヶ月間平均で家庭用契約件数全体の0.1%～0.4%程度がスイッチングしている。
- 一方、新規小売からみなし小売へのスイッチングも月単位でみると、近畿が増加傾向にある。

みなし小売 → 新規小売 の割合（月単位）



新規小売 → みなし小売 の割合（月単位）



（出所）電力・ガス取引監視等委員会「ガス取引報（2017年4月～2020年2月）」より作成。

（注）各地域の毎月のスイッチング件数を、同時期の各地域の家庭用総契約件数で除した割合。

みなし小売とは、電気事業法等の一部を改正する等の法律附則第22条第1項に規定された旧一般ガスみなしガス小売事業者。

自社スイッチングの状況

- 規制料金が残っている9事業者（2020年2月末時点）において、規制料金から自由料金に変更した件数は、2020年2月末時点で、家庭用では約137万件（約9.9%）

指定旧供給区域内における自社内契約変更(規制料金⇒自由料金)件数

種別	2018年4月時点		2020年2月時点	
	契約変更件数（件）	率(※)	契約変更件数（件）	率(※)
家庭用	1,038,239	7.5%	1,368,454	9.9%
商業用	64,716	11.4%	88,873	15.7%
工業用	3,196	12.9%	3,576	14.5%
その他用	12,583	11.2%	17,327	15.4%
合計	1,118,734	7.7%	1,478,230	10.1%

※自社内契約変更率とは指定旧供給区域内における自社内契約変更件数（2017年4月からの当月までの累計）を2017年4月時点における各需要種の規制料金の契約件数で除した値

（出所）電力・ガス取引監視等委員会 「ガス取引報（2018年4月）」と「ガス取引報（2020年2月）」より作成

販売量における新規小売の動向

- ガス小売事業者全体の総販売量に占める、新規参入者の販売割合は、全体で14.7%。家庭用は10.1%、工業用は20.1%となっている。

種別	新規小売のガス販売量		
	新規小売の割合		
	2017年4月	2018年2月	2020年2月
家庭用	0.0%	2.5%	10.1%
商業用	0.4%	1.9%	5.7%
工業用	12.6%	16.8%	20.1%
合計	8.2%	10.8%	14.7%

(出所) 電力・ガス取引監視等委員会「ガス取引報」より作成

家庭用の販売量における新規小売の割合

- 家庭用の販売量における新規小売の割合（全国10.1%）を地域別にみると、関東、中部・北陸などで特に伸びている。

家庭用の販売量に占める新規小売の割合（地域別）

